

# 農業後継者育成基金事業

## 令和2年度農業高校就農促進対策事業

事業主体名 鹿児島県立曾於高等学校

### 1 目的

地域の農家や農業関連施設で、農業を体験することで、農業知識、技術の向上や経営感覚の醸成を図る。また、地域農業の実態を理解し、就農への意欲を喚起する。

さらに、地域の農業研究機関や関連施設において研修することで、農産物の加工や流通について理解を深めるとともに、勤労観や職業観の涵養を図る。

### 2 実施状況

#### (1) 勤労感謝祭の実施

日頃の学校の実習や授業で育てた農畜産物を活用した黒豚肉のバーベキューを行うことで、農業の面白さや達成感などを友達・先輩・後輩と共有し、就農意欲の喚起を図ることができた。さらに、安心・安全な農産物を生産する使命感や命をいただくことへの感謝の心を育む良い機会とすることができた。また、レクレーションをとおして、仲間との連帯感を育み、就農する上でのコミュニケーション力の大切さを学ぶ良い機会となった。この学習活動から、生産物への感謝や実習の大切さに気付き、就農や農業関連産業への就職に向けた準備や今後の取組について考えるようになった。



#### (2) 明日の営農を語る会の実施

畜産食農科3年生が、就農や農業関連産業の就職及び農業大学校等の進学について、抱負を発表し、仲間たちと語らう場になった。発表した生徒たちは将来の夢を真剣に語り、発表を聞いた後輩たちは、先輩の気持ちに感銘を受け、今後の農業学習や就農意欲の向上へ大きくつながったようであった。



### 3 今後の課題、取組

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から、計画の一部を中止せざるを得なかった。今後も、地域の感染状況を考慮しながら、関係機関と連携を図り、生徒の興味・関心を深め、地域農業や社会へ貢献できるようなリーダーの育成につなげる教育を目指したい。